

第15回 植物ウイルス病研究会のご案内

第15回植物ウイルス病研究会は令和6年度日本植物病理学会大会開催に合わせて開催することになりました。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

日 時：令和6年3月16日（土）9：00～16：00

場 所：東北大学川内北キャンパス講義棟B棟 B200

参加費：正会員2,000円（不課税）、学生会員：1,000円（不課税）、非会員3,000円〔課税（税込み）〕〔講演要旨代（PDF版）含む〕

参加費については当日徴収いたします。なお、日本植物病理学会は適格請求書発行事業者ではありませんので、領収書はインボイス制度に対応しておりません。

申し込み：2月29日までに google フォーム (<https://forms.gle/AgP444SkDZbY4g1z5>) にて入力してください。参加登録者には事前に講演要旨（PDF版）を送付します。

プログラム

テーマ「グローバル化に対応したこれからの植物ウイルス研究」

9：00～9：05 開会の辞 鈴木信弘（岡山大学資源植物科学研究所）

1. 侵入警戒ウイルス・ウイロイド病

座長 小松 健（東京農工大学農学研究院）

9：05～9：35

1) 「日本国内への侵入を警戒するウイルス・ウイロイドとその検出事例」

柳澤広宣（農林水産省横浜植物防疫所）

9：35～10：05

2) 「種子伝染するウイロイド ～次世代組織に侵入できる non-coding RNA～」

松下陽介（農研機構 植物防疫研究部門）

10：05～10：35

3) 「Tomato brown rugose fruit virus の種子伝染性等諸性質および防除技術開発の取り組み」

久保田健嗣（農研機構 植物防疫研究部門）

10：35～10：50 休憩

10：50～11：20

4) 「Tomato mottle mosaic virus の分子特性と病原性」

今 辰哉（秋田県立大学生物資源科学部）

11：20～11：50

5) 「ナス科、ウリ科野菜におけるジェミニウイルス抵抗性と育種利用」

小枝壮太（近畿大学農学部）

11：50～13：10 昼食

キャンパス内の食堂・購買は営業予定（昼食時間帯）です。

<https://www.knt.co.jp/ec/2024/ppsj/danwa.html>

2. 植物ウイルス分類の動向

座長 藤 晋一 (秋田県立大学生物資源科学部)

13:10~13:30

1) 「ICTVによる2名法導入とウイルス種名・系統名あれこれ」

鈴木信弘 (岡山大学資源植物科学研究所)

13:30~13:50

2) 「日本植物病名目録に記載されるウイルス病名とウイルス和名の付け方について」

～ウイルス病というのかい？ 贅沢な名だね。今からお前の名前は++++だ～

望月知史 (大阪公立大学農学部)

3. パネルディスカッション

14:00~14:50

「植物ウイルス病研究におけるメタゲノミクスのいま」

オーガナイザー 関根健太郎 (琉球大学農学部)

ファシリテーター 湊 菜未 (新潟大学農学部)

パネリスト 一木珠樹 (農研機構 遺伝資源研究センター)

藤崎恒喜 (公益財団法人岩手生物工学研究センター),

望月知史 (大阪公立大学農学部)

柳澤広宣 (農林水産省横浜植物防疫所)

14:50~15:10 休憩

4. 特別講演

15:10~15:50

座長 富高保弘 (農研機構 植物防疫研究部門)

「ウイルス拡散の遙かなる時空を求めて」

大島一里 (佐賀大学)

15:50 閉会

問い合わせ先: 第15回植物ウイルス病研究会世話人 藤 晋一・磯貝雅道

〒010-0195 秋田市下新城野街道端西 241-438

秋田県立大学生物資源科学部 植物保護研究室

TEL: 018-872-1640 FAX: 018-872-1678

E-mail: sfuji@akita-pu.ac.jp

共催 東北大学大学院農学研究科